

## 序 文

本小冊子は、2001～2004年度科学研究費補助金基盤研究(A)「ロシアの世界経済との統合に関する総合的研究」(研究代表：田畑伸一郎、課題番号13303001)の研究成果の一部である。本稿の執筆者は研究分担者の中村靖(横浜国立大学経済学部)であり、本稿は、2000～2001年度科学研究費補助金基盤研究(C)「金融部門を含む計算可能一般均衡モデルによるロシア経済分析」(研究代表：中村靖、課題番号60189066)の研究成果の一部でもある。

本稿でなされた研究は、ロシアの世界経済との統合がもたらす影響を計算可能一般均衡(CGЕ)モデルによって分析するための準備作業と位置付けられる。この意味で、本稿は研究の中間生産物であるが、CGЕモデル作成の初心者向けマニュアルとして汎用的に利用できる邦語文献がほとんどないことも考慮して、ここに刊行した次第である。

なお、「はじめに」にも記されているように、ウズベキスタンのデータが使われているのは、同国データの構成上の簡便性によるものであり、本稿はウズベキスタンの経済分析を意図したものではない。次の作業としては、CIS間地域モデルの作成、ロシアWTO加盟が経済に与える影響を分析するためのシミュレーション・モデルの作成が予定されている。

2002年4月

研究代表者  
田畑伸一郎